

目次

RS485モード (マスター、デフォルト、スレーブ) 1

RS-485モード 1

スレーブ端末を追加 1

RS485モード (マスター、デフォルト、スレーブ)

このドキュメントでは、BioStar 2のRS485モードの概念について説明します。

RS-485モード

以下の3つの異なるRS485モードをサポートします。

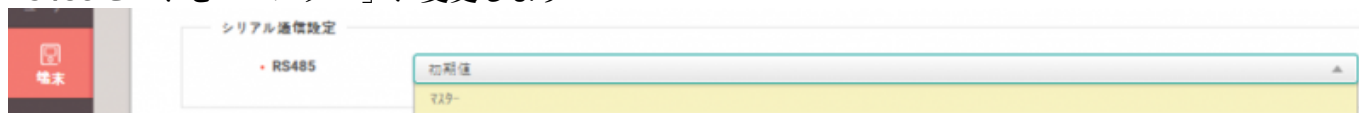
- デフォルト: 端末の工場出荷時のデフォルトのステータス。
- マスター: デバイスは、RS485を介してスレーブデバイスを検索および追加できます
- スレーブ: RS485を介してデバイスを検索し、マスターデバイスに追加できます

モード	TCP/IP接続	RS485スレーブ端末検索	サーバーマッチング
デフォルト	0	X	0
マスター	0	0	0
スレーブ	0	X	X

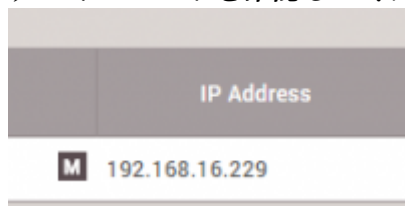
*スレーブデバイスはサーバーマッチングを行わず、クレデンシャル情報をマスターデバイスに送信し、その結果を受信してインジケーターまたはLCDディスプレイから表示しています。

スレーブ端末を追加

RS485モードを「マスター」に変更します



デバイスモードを確認してください。デバイスのIPアドレスの前に「M」マークが表示されます。



マスター端末で右クリックし、スレーブ端末を検索をクリックします。



スレーブデバイスが検索され、リストに表示されます。チェックボックスをマークして「追加」ボタンをクリックします。



1つのマスターデバイスは最大31台のデバイスを接続できますが、最大8つの指紋デバイスをRS 485を介して接続できます。

Supremaはユーザー数と接続デバイス数を考慮して、RS 485での指紋デバイスの接続は最小数をお勧めします。マスターデバイスによって、マッチング速度が遅くなる可能性があるためです。

From:
<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:2xfaq_rs485_mode_master_default_slave

Last update: 2020/06/22 10:31